

令和元年6月19日

農作物生育・技術情報 3号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1. 水稻生育状況（6月15日現在）

品 種	生 育 状 況		
	項 目	R1年	平 年
ななつぼし	草丈 (cm)	31.3	28.0
	葉数 (葉)	6.5	6.1
	茎数 (本/m ²)	210.6	125.2
	分けつ始	6月8日	6月10日
	遅速日数	+2	-

5月中旬～6月上旬の高温により、生育は進み、分けつも多くなっています。しかし、移植の遅かったほ場では分けつの遅れが見られますので、好天時は浅水管理で分けつを促しましょう。差し苗用の置き苗は、いもち病の発生源となるので直ちに除去しましょう。

技 術 対 策

- ・ 茎数を確保するため、好天時は3cm～4cmの浅水管理を行い、株もとの地温を高め分けつを促す。ただし、田面は露出させないようにし、強風時は水位を高めて苗を保護する。入水は気温と水温の差が少ない夜間から早朝に行い、日中は止水にして水温の上昇を図る。
- ・ ワキがひどい水田は、好天時に水田の中干し(3～4日)を行う。ただし、生育が悪い場合は水の入れ替えにとどめる。

2. 主要野菜の生育状況

作 物 名	生 育 状 況	技 術 対 策
トマト	3月定植：2～4段目収穫中 4月定植：1～2段目収穫中 5月定植：5段花房開花 <病害虫、生理障害> ・ 灰色かび病、萎凋病、アザミウマ類、ハダニ類が一部で見られる。 ・ 4～5段花房付近で加里欠、がく枯れ、窓開き果が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茎葉の過繁茂は、灰色かび病、葉かび病などを誘発するので、ベットの内側を中心に摘葉し、適宜薬剤散布を行う。 ・ 草勢が衰えないように、必要に応じて追肥・かん水・葉面散布等を行う。 ・ 加里は窒素量の2倍施用する。
ハウス軟白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月定植収穫中。 ・ ハモグリバエ類、タマネギバエ、アザミウマ類が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハウス周辺の除草、残渣の処理を徹底する。 ・ 粘着版を設置し、アザミウマ類（青）、ハモグリバエ類（黄）の早期防除に努める。
アスパラガス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立茎期。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 灰色かび病防除のため樹を軽くゆすり、花かすを落とす。またハウス内湿度を高めないように換気に努める。 ・ ハウス周辺の除草を行う。

* 日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイド系薬剤の抵抗性が確認されました。今後は、合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

3. 牧草生育状況（6月15日現在）

作物名	生育状況				生育期節	適要
	項目	30年	平年	遅速日数	出穂期 (平年値)	
牧草	草丈	84.0cm	91.2cm	±0	6/13(6/13)	降水量が少なく、やや草丈が低い。
デントコーン	草丈 葉数	35.8cm 5.9葉	27.0cm 4.8葉	+4		生育はやや進んでいる。

※牧草の出穂状況を観察し、適期刈り取りを行いましょ。う。

※牧草収穫後は追肥しましょ。う。牧草の分けつが確保され生産量と永続性に効果があります。

※飼料用とうもろこし圃場では雑草が伸びています。早めの除草剤処理を行いましょ。う。

4. 畑作

(1) ばれいしょ

○培土 本培土は萌芽21～25日後、莖長25cm頃を目安に行います。

遅れると根やストロンを切断するので早めに行いましょ。う。

○疫病 疫病は着蕾期以降から発生が見られ、降雨による多湿で蔓延しやすくなります。予防に努めましょ。う。

【疫病防除例】  6月下旬 グリーンペンコゼブ水和剤（400～600倍）

(2) てん菜

○根腐病 高温多湿で多発します。予防に努めてください。

○ヨトウガ ほ場をよく観察して、虫や食痕を確認してから薬剤を散布しましょ。う。

*詳細は「てん菜栽培技術情報」をご覧ください。

(3) 秋まき小麦

○アブラムシ類

出穂10日後に1穂当たり7～11頭位寄生している場合は、防除が必要です。ほ場をよく観察し防除しましょ。う。

(4) 大豆、小豆

定期的の中耕作業を行い初期生育の促進に努めましょ。う。

中耕作業は花芽分化前の7月上旬までに終了しましょ。う。

5. 6～8月は「農薬危害防止月間」です！

◎病害虫・雑草の防除に使用する薬剤は、農林水産省登録の薬剤に限ります。

容器に「農林水産省登録〇〇号」の記載があるので、必ず確認しましょ。う。

◎使い慣れた農薬であっても必ず「平成31年度 防除ガイド」を確認しましょ。う。

- ・適用作物
- ・使用時期（収穫前日数）
- ・希釈倍数、量
- ・成分ごとの使用回数
- ・使用期限

◎農薬の飛散防止に努めましょ。う。



ラベルで確認